

科目名	国語総合	学 年	1年	コース	全	単位数	2	担当者	
-----	------	-----	----	-----	---	-----	---	-----	--

1 目 標

国語を適切に表現し、的確に理解する力を育て、伝えあう力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。

言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

2 到達目標

論理的文章や文学的文章を的確に捉える力を身につける。

文や文の組み立て、語句の意味、用法および表記の仕方を理解し語彙を豊かにする。

書く・話す・といった表現力を高めるとともに、他者の意見を聞く力を高め、コミュニケーション能力を身につける。

3 成績評価の方法

定期考査・小テスト・提出物（ノート、プリント類）・授業態度などより総合的な評価をします。

4 学習者へのメッセージ

現代文といっても、中学校時に学んだ文章に比べると内容が難しくなってきます。使われる単語も同様です。日常生活の中に「読書」の時間を取り入れて文章に触れる時間を増やしましょう。新聞・ニュースなどに興味をもってみることも大切です。

意味のわからない単語がでてきたら、自分で調べてみましょう。また、いろんな方法（便覧・辞典・インターネットなど）で作者や作品に関する情報を集め、読みを深めましょう。

新しく学んだ語句の意味や新出漢字を確実に自分のものにする必要があります。そのためには家庭で漢字の書き取りの時間をとるなど、地味ではあるが着実な努力を続けましょう。これは一生の財産になります。

日本語の表現力をきちんと身につけるとともに、日常から自分の視点で考える習慣をつけましょう。（私ならこのことについてはこう考える、というような態度を持つことです）このことがあなたの表現力の幅を広げてくれます。

5 使用教材

教科書「新編 国語総合」(大修館書店)

副教材「理解しやすい現代文・表現」(文英堂) 「常用漢字の級別学習」(京都書房)

6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [] [] []

課 題

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元(章,節など)	重点目標
4 5	1 伝えあう心 2 漢字に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションを通して人間関係の幅を広げる。身近な話題を選んでスピーチや説明を実践する。 ・漢字に親しみ、表現力をつける。また、調べる学習の方法を学ぶ。
1 学 期 中 間 考 査		
6 7	3 読むことの楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ・気楽に読める小説をきっかけに、読書の楽しみを知る。 ・読んだものの内容をまとめて、人に紹介したり、話し合う力をつける。
1 学 期 期 末 考 査		
9 10	4 広がる見方・考え方 5 自分の考えを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的文章を読むことを通して新しい分野への関心を持ち、自分の視野を広げていく。 ・自分の考えを明確に伝えるための練習をする。ここでは目的にあった意見文・手紙文を作成する。
2 学 期 中 間 考 査		
11 12	6 詩歌との出会い 7 読みを深める	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な詩歌に触れ、読みくらべる。また、発表の方法を学ぶ。 ・近代の名作(『羅生門』など)をじっくり読んでいく。主人公の心情を読みとり、イメージを膨らませる。
2 学 期 期 末 考 査		
1 3	8 論理をはぐくむ 9 未来をひらく	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな視点を持った文章に接して思考力を鍛え、論理的なものの見方、考え方を身につける。 ・この一年間で身につけた国語力を活用し、将来に向けての課題を探し、それについて考えたり、調べたりしてみる。 パネルディスカッションの説明を聞く。
学 年 末 考 査		

科目名	国語総合	学 年	1 年	コース	全	単位数	3	担当者	
-----	------	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	--

1 目 標

国語を適切に表現し、的確に理解する力を育て、伝えあう力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。

言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

2 到達目標

文語・訓読のきまりを理解し、古典に親しむ。

様々な文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げたり深めたりする。

文章の内容を的確に読みとり、描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。

3 成績評価の方法

定期考査・小テスト・提出物・授業態度などにより、総合的な評価を行う。

4 学習者へのメッセージ

予習復習を徹底しましょう

音読はもちろん、本文をノートに書き写し、古文なら古語辞典で単語の意味を調べ、漢文なら書き下し文をして授業に臨みましょう。分からなかったこと、疑問に思ったことは授業中に解決できるように、授業は集中して。自宅に戻ったらポイントをもう一度見直しましょう。

国語便覧を活用しましょう

古典常識・文学史・句形の整理など、便覧を有効に利用しましょう。

5 使用教材

教科書「新編 国語総合」(大修館書店)

副教材「クリアカラー国語便覧」(数研出版)

「読解を大切にする体系古典文法」(数研出版)

「理解しやすい古文」(文英堂)

「理解しやすい漢文」(文英堂)

6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [] [] []

課 題

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元(章,節など)	重点目標
4 、 5 、	古文に親しむ 児のそら寝 漢文のとびら 訓読のきまり・格言	古文・漢文に対する関心を広げたり深めたりする。 文語・訓読のきまりを理解する。
1 学 期 中 間 考 査		
6 、 7	随筆の楽しみ 枕草子 漢文のとびら 故事成語	筆者のものの見方・感じ方・考え方を、時代背景や具体的場面に即して考え、理解する。 訓読に慣れると共に、故事成語の意味を理解し、普段の言語生活にいかせるようにする。
1 学 期 期 末 考 査		
9 、 10 、	随筆の楽しみ 物語の世界 伊勢物語 孔子の言葉 学問のすすめ・いかに生きるか 徒然草	表現技法・文章・文体の特徴を理解し、鑑賞を深める。 人間の心理を読みとり、自分たちの日常の体験と比較して考える。 句法を正しく理解し、内容を適格にとらえる。 わが国への儒家思想の影響や、孔子との比較を通して自分を振りかえる。
2 学 期 中 間 考 査		
11 、 12	和歌の調べ 万葉集・古今和歌集 俳諧・奥の細道 唐詩のしらべ 自然・友情・憂慮	人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。 表現の特色をとらえ、言語感覚を磨く。
2 学 期 期 末 考 査		
1 、 3	物語の世界 平家物語 物語へのいざない 人面桃花	人物・情景・心情などを表現に即して読み味わう。
学 年 末 考 査		

